

特集

煉瓦のマテリアルとしての魅力を再考する

商業施設や店舗、ホテルやマンションのエントランスなど、人々が集う場所で人目を引く意匠デザインは差別化を図る上で、根強い人気を博している。そうした中、煉瓦の重厚感と風合いは、悠久の時間を感じさせる唯一無二ともいえるものであり、どこか異国情緒の漂う雰囲気すら暮らしの一場面を彩る景観材として広く使用されている。また、意匠材としてだけでなく、優れた構造材としての魅力があるのも特徴の一つだ。

そこで本特集では、前衛的な意匠デザインで注目を集める株高山煉瓦建築デザインの高山登志彦さんに最新施工事例を紹介いただきながら煉瓦のマテリアルとしての魅力について何うほか、120年を迎える赤煉瓦酒造工場の遺構、メーカー各社のアンケートを紹介し、煉瓦の魅力と今後の展望を探っていく。

(編集部)

インタビュー

施主の想い、物語を積み上げることで、
煉瓦を使う意味が見いだせる……………12

株式会社 高山煉瓦建築デザイン 代表取締役 高山 登志彦 さんに聞く

寄稿

120周年を迎えた「赤煉瓦酒造工場」(重文)を訪ねて……………20

日本れんが協会 技術顧問 金子 祐正

煉瓦アンケート

煉瓦市場と今後の展開を探る —編集部アンケートより—……………22

煉瓦取り扱い企業一覧……………24